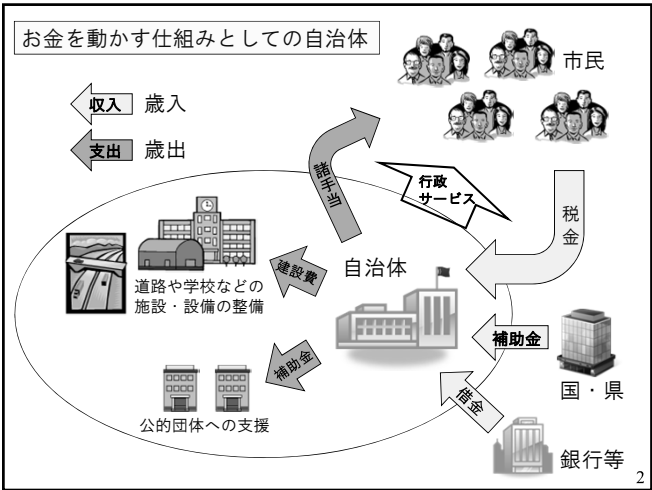


君津市 はじめての財政学習講座

君津市の家計簿チェック
～あなたもできる財政分析のポイント～

大塚 成男 (千葉大学)
ohtsuka@le.chiba-u.ac.jp

1



予算と決算

自治体におけるお金の動きを表しているのが
予算と決算である。

予算：その年度に行うべき行政活動の
計画（事前に決められた方針）

決算：現実にはじつたその年度中の収入・
支出の金額（実績）

↓

決算は予算通りになるのが原則だが、
事実は必ずしも計画とは一致しない。
（決算で実績をみる必要がある）

3

平成25年度の君津市決算での支出総額

456億円7千万円

(市民一人当たり 約51万7千円)

↓

【主要な支出目的】 (市民一人当たり)

基幹的業務	278億6千万円	(315,502円)
国民健康保険	104億4千万円	(118,250円)
介護保険	55億6千万円	(62,811円)
後期高齢者医療	7億7千万円	(8,613円)
学校給食	7億4千万円	(8,307円)
直営診療施設	2億1千万円	(2,315円)

これらの金額はどれほどの意味を持っているのか？

4

君津市の活動は多岐にわたる。

↓

今回の勉強会では、特に君津市の活動の中核的な部分(普通会計)に注目する。

普通会計：特に法律で独立して収支を管理すべきことが義務付けられている部分を除外した資金の収支

平成25年度 収入総額 295億1千万円
支出総額 281億5千万円

※ 具体的な分析の資料には「決算カード」を用いる。

【入手方法】
君津市のホームページ
①「まちづくりと市勢」の中の「財政状況」をクリック
②「決算」をクリック→「決算カード」をダウンロード

5

決算分析の方法

決算分析の基本的な方法は比較である。

① 過去の決算数値との比較
② 他の団体の決算数値との比較

↓

決算数値における特徴を明らかにしたうえで、その特徴が長所であるか、短所であるかを判断する。

◆決算カードをまとめて入手するには、総務省のホームページが便利。(http://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/card.html)

◆規模が異なる自治体を比較するうえでは、住民一人あたりの金額を用いる。(今回の分析では、各年度末の住民基本台帳の人口を用いている)

6

君津市の歳入

(百万円)	君津市			袖ヶ浦市	茂原市
	H23	H24	H25	H25	H25
歳入合計	28,682	27,629	28,148	24,707	27,729
市税による収入 (地方税)	16,501	16,500	17,183	13,379	12,239
国からの財源補填 (地方交付税)	314	310	195	75	2,946
国・県からの補助金 (国・県支出金)	4,979	4,561	5,003	5,156	5,500
使用料・手数料	657	687	722	546	690
借入金による収入 (地方債)	1,780	1,646	824	2,417	3,197

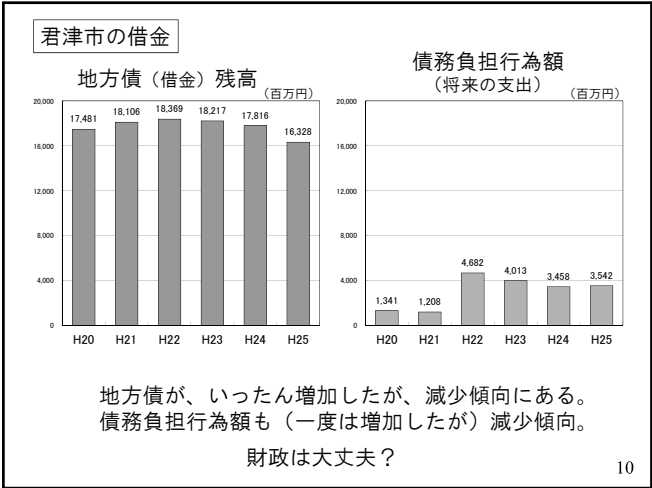
【住民一人あたりの金額】

(円)	君津市			袖ヶ浦市	茂原市
	H23	H24	H25	H25	H25
歳入合計	322,421	310,161	318,724	399,173	300,624
市税による収入	185,491	185,233	194,568	216,164	132,694
国からの財源補填	3,530	3,476	2,206	1,214	31,938
国・県からの補助金	55,971	51,202	56,651	83,308	59,634
使用料・手数料	7,381	7,717	8,180	8,822	7,476
借入金による収入	20,007	18,482	9,329	39,055	34,656

7

君津市の歳出（性質別）

(百万円)	君津市			袖ヶ浦市	茂原市
	H23	H24	H25	H25	H25
歳出合計	28,682	27,629	28,148	24,707	27,729
職員等の給与 (人件費)	7,308	7,090	6,756	5,165	5,035
福祉の経費・手当 (扶助費)	5,421	5,593	5,597	3,891	5,429
物品や事業の経費 (物件費)	5,407	5,596	5,232	4,084	2,686
借金の返済 (公債費)	2,193	2,285	2,524	1,092	3,578
施設・設備の建設 (投資的経費)	3,44				



君津市はH26年度 不交付団体となった。

不交付団体＝ 財政力があることを理由に、国が地方交付税の交付を行わない団体。

財政は立ち直ったのか？

↓

No！ 厳しい財政状況は続いている。

不交付団体となるか否かは財政力指数という指標で決まる。しかし、財政力指数は必ずしも現実の財政状況を反映しているとは言えない！

11

財政力指数の落とし穴

財政力指数 = $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ （過去3年間の平均）

基準財政収入額：標準的な状態において徴収を見込むことができる税収入

基準財政需要額：行政を行い、施設を維持するための財政需要

君津市の平成25年度の財政力指数は **0.99**

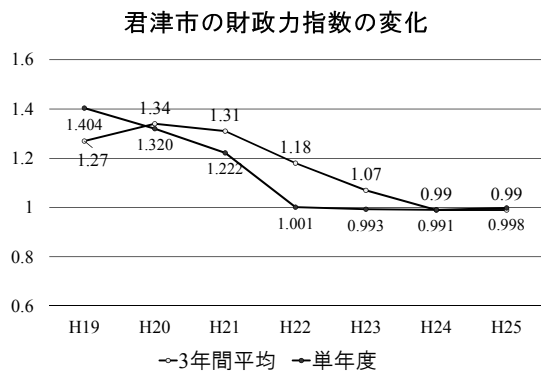
数字上は自主財源で需要をまかなうことができる。

↓

しかし

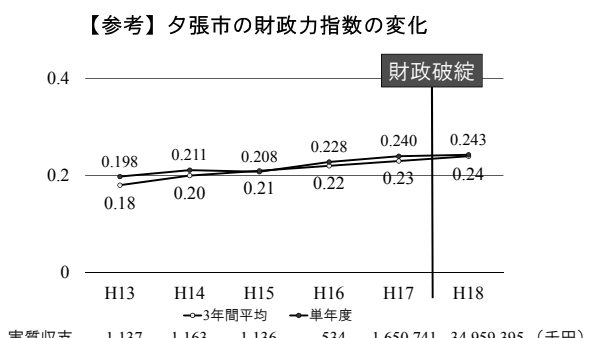
- ・ 財政力指数は確実に低下している。
- ・ 財政力指数は現実の財政状況を表さない。

12



平成22年度までに大きく悪化し、改善されていない。

13



実質収支 1,137 1,163 1,136 534 -1,650,741 -34,959,395 (千円)

夕張市の財政力指数は財政破綻するまで（破綻後も）増加

財政危機の危機的状況はわからない

14

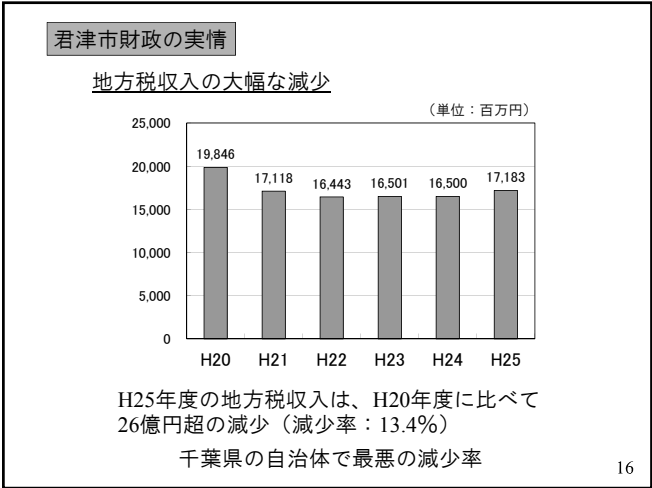
財政力指数と財政状況との乖離

財政力指数の計算で用いられる基準財政需要額は現実の歳出の金額ではない。（人口・面積等で決まる）

（単位：千円）			
君津市	基準財政需要額	歳出決算額	倍率
H20	12,769,987	28,473,670	2.230
H21	12,534,831	29,316,422	2.339
H22	13,294,314	29,142,974	2.192
H23	13,523,280	28,681,945	2.121
H24	13,503,944	27,628,817	2.046
H25	14,368,971	28,148,406	1.959

財政力指数が高くても、現実の歳出を賄える保証はない。

15



歳入・歳出全体のバランスの分析

① 業務活動収支：日常的な行政活動に伴う収支
＜収入＞ 地方税、地方交付税、使用料・手数料 等
＜支出＞ 人件費、扶助費、物件費、維持補修費、補助費
※税収は投資活動にも用いられるので「収入＞支出」であることが望ましい。

② 投資活動収支：公共施設・インフラ整備のための収支
＜収入＞ 国庫支出金、都道府県支出金
＜支出＞ 普通建設事業費、災害普及事業費 等

③ 財務活動収支：起債や資金のやりくりのための収支
＜収入＞ 繰入金、地方債収入、諸収入
＜支出＞ 公債費、投資・出資金・貸付金、積立金

決算カードから資金収支計算書を作成するExcelファイル
<http://www.sohtsuka.jp/MakeCF.xlsx>

17

【参考】夕張市の場合

	(百万円)	H13	H14	H15	H16	H17	H18
業務活動	収入合計	8,362	7,662	7,146	6,785	6,521	6,483
	支出合計	10,399	8,233	7,364	6,959	6,236	39,380
	収支額	-2,036	-571	-218	-174	285	-32,897
投資活動	収入合計	2,845	2,199	1,506	1,433	1,313	1,139
	支出合計	3,025	2,291	1,016	1,136	1,299	1,698
	収支額	-180	-92	491	297	14	-559
財務活動	収入合計	8,808	7,338	8,345	11,131	3,136	15,340
	支出合計	6,591	6,674	8,617	11,254	5,084	16,842
	収支額	2,217	664	-272	-123	-1,948	-1,503
歳入・歳出差額		1	1	1	1	-1,649	-34,959

業務活動の資金が不足し、資金のやりくりの規模が大幅に拡大していた。

↓

H17年度以前に財政は実質的に破綻していた。

18

君津市の場合

(百万円)		H20	H21	H22	H23	H24	H25
業務活動	収入合計	24,579	21,629	21,125	21,737	21,022	21,643
	支出合計	21,509	23,381	23,062	22,773	22,926	22,058
	収支額	3,070	-1,752	-1,936	-1,037	-1,904	-415
投資活動	収入合計	3,361	5,216	5,030	5,029	4,620	5,057
	支出合計	3,952	3,350	3,482	3,445	2,147	2,117
	収支額	-591	1,867	1,548	1,584	2,473	2,940
財務活動	収入合計	2,027	4,211	5,151	3,506	3,476	2,809
	支出合計	3,014	2,586	2,599	2,463	2,555	3,973
	収支額	-987	1,625	2,552	1,043	921	-1,164
歳入・歳出差額		1,492	1,740	2,163	1,590	1,490	1,361

- ・ H21年度から業務活動の赤字が続いている。
- ・ 投資活動の支出が縮小している。
- ・ 財務活動の規模が拡大しつつある。

19

基金（過去からの蓄え）の食い潰し

財政調整基金（貯え）の変化（単位：百万円）

年度	財政調整基金（貯え）の変化（単位：百万円）	歳入に組み入れられている積立金取崩額
H19	4,099	0
H20	4,299	0
H21	4,306	0
H22	3,811	-500
H23	3,414	-400
H24	2,524	-893
H25	2,624	-1,090

歳入に組み入れられている積立金取崩額

H21年度末に比べて、H25年度末の財政調整基金の残高は約12億円減少（減少率：39.1%）

20

施設・設備の整備費（普通建設事業費）の減少

普通建設事業費
(百万円)

年度	普通建設事業費 (百万円)
H19	3,366
H20	3,918
H21	3,319
H22	3,429
H23	3,370
H24	2,12

施設・設備の維持・管理は？

維持補修費 平成20年度 340 百万円

↓

平成25年度 122 百万円

維持補修費の大幅減額が修繕の先送りを意味しているならば

↓

- ・ 公共施設の老朽化が進行
- ・ 使用可能年数の短縮

公共サービスの低下と将来の財政負担の増加

22

財政危機への対応

歳入が増えないなら、歳出を見直すしかない。

(単位：百万円)

	人件費	扶助費(福祉)	物件費
H20	7,753	3,411	5,210
H21	7,559	3,739	5,491
H22	7,322	5,086	5,522
H23	7,308	5,421	5,407
H24	7,090	5,593	5,596
H25	6,756	5,596	5,232
H19~H24の増減	－ 997	＋ 2,185	＋ 22

人件費は減っているが、扶助費が大きく増加し、物件費も増加してしまっている。

23

何をすべきか

- ・ 税収の増加は見込めない。
- ・ 国からの支援（地方交付税）もあてにできない。
- ・ 扶助費は今後も増加する。
- ・ 人件費をこれ以上削減することも困難。

↓

物件費を見直すしかない。

平成25年度	物件費（千円）	人口	市民一人当たり（円）
君津	5,232,098	88,316	59,243
袖ヶ浦	4,084,221	61,895	65,986
茂原	2,685,563	92,237	29,116
富津	2,562,327	47,411	54,045
木更津	6,369,356	131,412	48,469

24

物件費の見直し

物件費の見直し = 事業内容・事業費の見直し
ただし

- ・ 事業費の「一律カット」は良い結果とはならない。
- ・ 事業内容を踏まえた実質的な検討を行うことが必要。



市民から見て、公共サービスが重複していないか？
提供されている公共サービスが過大になっていないか？
慣例・慣行だけを理由に続けている事業はないか？

25

目指すべきもの

- ・ 君津市を市民にとって住みやすい街にすること
- ・ 良い住環境を長期的に維持すること



現在の君津市は、かつての君津市ではない
「身の丈に合った」行政運営を目指すべき。

【チェックポイント】

- ・ 財政調整基金の減少が止まるか？
- ・ 物件費の削減が進むか？
- ・ 普通建設事業費が確保されていくか？

26
